

復習シート 第四学年 国語



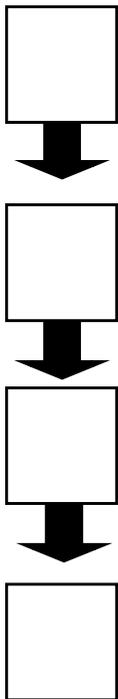
組
番号
名前

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

1 次の1～4の言葉を、国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

レベル6

- 1 パック
- 2 はつか
- 3 はつねつ
- 4 バック



【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】

2 次の文の主語、述語をー線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

レベル6

1 わたしは、妹と 楽しく 公園で 遊ぶ。

主語

述語

2 きのお 動物園で きりんが 葉っぱを 食べていた。

主語

述語

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

3 次の漢字のー線部の読みがなを書き、音読みか訓読みかに答えましょう。

ア 音読み イ 訓読み

1 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

読みがな

ア・イ

2 急に寒くなってきたので、上着を着た。



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

国語（話すこと・聞くこと）

小学校 4年

【R2】復習シート

【発表のくふうを考える問題／話の中心をとらえる問題】

1

あおいさんのクラスではスーパーマーケットの店長さんから話を聞き、家の人に向けて発表会を行います。あおいさんのまとめた【店長さんの話】と【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【店長さんの話】

A

お店では、やく百二十人の人がはたらいています。品ものをならべる仕事、レジをうつ仕事、そうぎいを作る仕事など、他にもたくさんのお仕事があつて、分たんしています。

〈かんきよう問題への取り組み〉

お店には、リサイクルステーションをおいて、かんやペットボトル、トレーなどの回しゆうをしています。また、家から買い物ぶくろを持ってきてもらい、レジぶくろを使わないような取り組みをしています。

〈品物について〉

お店には、いつもたくさんのお品物があるようにします。たくさんならべるだけでなく、いつも新せんなものをおいたり、買いやすいように小分けにしたりしています。

【発表原こう】

みなさんは、スーパーマーケットに、どんなくふうがあるか知っていますか。わたしは、社会科見学でスーパーマーケットに行き、店長さんからお話を聞きました。

お店には、毎日たくさんのおきやくさんが来ます。そのため、売場にはたくさんのお品物がならべられています。品物は、新せんなものならぶように気をつけているそうです。品物をならべる他にも仕事はたくさんあつて、レジをうつたり、そうぎいを作ったりするそうです。

また、お店にはリサイクルステーションがあつて、空きかんやペットボトル、トレーなどを回しゆうしています。かんきようを考えて、買い物ぶくろを持ってきてもらうようにおねがいしているそうです。

スーパーマーケットには、お客さんのためにも、かんきようのためにも、いろいろなくふうがあることがわかりました。

※そうぎい・・・ごはんなどにそえる、おかずのこと。

（1） 聞いている人によくつたわるように、【発表原こう】ではどのようなふうをしてい
ますか。次からえらび、番号を書きましょう。 **レベル7**

1 しりょうを見せて、わかりやすくつたえている。

2 店長さんの話の中からつたえたいことを一つにしぼって、くわしく書いている。

3 問いかけから始めて、聞き手のきょう味を引いている。

4 自分の感想を多く入れて、つたえたいことをまとめている。

国語 小学校4年

【R2】復習シート

(2) 【店長さんの話】の にあてはまることばを、次からえらび、番号を
書きましょう。 **レベル7**

1 お店のくふう

2 はたらく人について

3 お客さんについて

4 売り場のようす



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

1

入学したばかりの一年生にあなたの学校のおすすめの場所について、発表します。あなたが、一年生の子たちに教えたい場所はどこですか。

あなたが教えたい場所と、その場所を教えたい理由を、次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。

レベル7

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが一年生の子たちに教えたい場所を書くこと。

3 二段落目には、あなたがその場所を教えたい理由を書くこと。

--	--	--	--	--

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

親子の銀ぎつねは、ほら穴あなから出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いていきました。

やがて、ゆくてにぼつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所ひくにも落ちてるのねえ。」

と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」

と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町ちの灯ひなんだよ。」

その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達ともだちと出かけて行って、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百ひゃくのように見つかって、さんざ追いまくられて、命いのちからがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」

と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのでした。

（出典 新美南吉 「手ぶくろを買いに」）

1) 子どものきつねは、町ちの灯ひを見て、何と聞ちがえたのでしょうか。二字で書きぬきま

よう。
レベル6

(2) 母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていると言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかってしまい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のかつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかって、命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のかつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことにはらが立ったことを思い出したから。

